

四日市市保健所

感染症の発生について(情報提供)

【概要】

医療機関から腸管出血性大腸菌(O157)感染症の発生届が当保健所にありました。
内容につきましては、下記のとおりです。
これは感染症法第16条に基づく発生動向情報であり、感染予防について呼びかけるものです。

病名	腸管出血性大腸菌(O157)感染症					
年齢及び性別	10歳未満 男					
職業	園児					
住所	四日市市					
発病年月日	令和2年8月18日					
診断年月日	令和2年8月24日					
【患者発生の経過】						
8月18日	発熱、軟便2-3回、腹痛出現。					
8月19日	発熱継続。水様性下痢10回以上、倦怠感出現。食欲減退。市内医療機関A受診。					
8月20日	腹痛増強、血便(10回以上)出現。					
8月21日	発熱、腹痛、血便、倦怠感継続。嘔吐出現のため、市内医療機関Bを受診し、症状から市内医療機関Cを紹介され入院となる。					
8月23日	発熱継続、軟便5回、腹痛軽減。					
8月24日	発熱は継続するが、下痢消失。8月21日の便検査の結果より、腸管出血性大腸菌感染症と診断。 溶血性尿毒症症候群(HUS)を発症しており、県内医療機関Dへ転院。 8月25日現在、患者は入院治療継続中です。					
【防疫措置】						
接触者の健康状況調査及び検便の実施						
【四日市市内の腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】						
令和2年8月25日現在				()内は三重県内の発生状況		
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年/令和元年	令和2年
患者	5 (29)	6 (29)	3 (29)	8 (32)	4 (29)	5 (8)
保菌者	2 (9)	1 (15)	4 (13)	2 (19)	0 (20)	0 (5)
計(感染者)	7 (38)	7 (44)	7 (42)	10 (51)	4 (49)	5 (13)
【自分で出来る予防対策】						
1 予防の3原則						
①加熱(菌を殺す)						
この菌は熱に弱く、75℃、1分間の加熱で死滅します。						
肉の生食は避けてください。特に子どもや高齢者は注意してください。						
ひき肉は、十分に加熱をしましょう。						
焼肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。						
井戸水は、煮沸してから飲んでください。						
②迅速・冷却(菌を増やさない)						
調理した食品はすぐに食べましょう。						
③清潔(菌をつけない)						
手指や調理器具は十分に洗いましょう						
2 暴飲暴食は避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保ってください。						
3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けてください。						

連絡先

四日市市保健所 保健予防課(059-352-0595)
担当: 岡本、上原